

事業 No. 1-6 加藤敏弘研究室ゼミ合宿報告書

実施期間：2024年9月24日（火）～9月26日（木）

実施場所：大子町営研修センター

参加者：学生8名（男3名、女5名）、教員1名

目的：卒業研究を仕上げるための最終的な確認と作業を繰り返し精度を高め、協力して提出できるようメンバー相互の協力関係を構築する。

日 程：

9/24（火）

- | | |
|-------------|-------------------|
| 14:00 | 集合 |
| 14:30～18:30 | 個人面談（ロビー）、作業（研修室） |
| 19:00～19:40 | 夕食（食堂） |
| 20:00～22:00 | 交流会（食堂） |
| 23:00 | 就寝 |



9/25（水）

- | | |
|-------------|-------------------|
| 6:00 | 起床 |
| 6:30～7:00 | 散歩 |
| 7:10～7:50 | 朝食（食堂） |
| 8:00～12:30 | 個人面談（ロビー）、作業（研修室） |
| 12:30～15:30 | 昼食（現地） |
| 16:30～19:00 | 個人面談（ロビー）、作業（研修室） |
| 19:00～21:30 | 夕食（バーベキュー・花火） |
| 23:00 | 就寝 |



9/26（木）

- | | |
|-------------|---------------------|
| 6:00 | 起床 |
| 6:30～7:00 | 散歩 |
| 7:00～7:30 | 朝食 |
| 8:00～12:30 | 個人面談（ロビー）、共同作業（研修室） |
| 12:30～13:00 | 昼食（食堂） |
| 13:00 | 解散 |



学生の感想

- ・今回のゼミ合宿では、卒論を協力して進めることができたと共に、3日間を通してさらに団結することができたと考えている。卒論は一致団結して取り組むことが大切だと思うので、今回のゼミ合宿を通してさらに頑張っていきたいと思う。
- ・今回のゼミ合宿では、卒論について集中して取り組んだ。先生との面談やゼミメンバーとの意見共有の中で、さらに深めるべき点に気が付き、明確にすることができた。また、他のメンバーの卒論の話を聞き、意見を交換する。今、今後もゼミメンバーと協力して、卒論完成に向けて取り組んでいきたい。
- ・このゼミ合宿を通じて、自分の中には無かった新しい観点や知見を多く得ることができた。先生やゼミのメンバーと話す時間が多分に用意されており、非常に有意義な活動だったと感じる。自分らしい卒業研究を完成させられるように、最後まで頑張っていきたい。
- ・合宿の3日間を通して、先生やゼミメンバーに話を聞いてもらい、自分で悩んでいた部分が解決したり、良いアドバイスをもらえたりしてとても有意義な時間を過ごすことができた。今後も皆で協力し合い、互いに満足のいく卒論が完成できるよう頑張っていきたい。

